

# 会報

2012. 8.25

第59号

## 戦没船を記録する会

〒343-0025 埼玉県越谷市大沢4-15-1-4-207  
Tel/FAX:048-965-6820 携帯:090-6146-5557  
URL=http://www.ric.hi-ho.ne.jp/senbotusen/  
E-mail: senbotu@ric.hi-ho.ne.jp  
郵便振替001606-719515

## 目次

第19回定期総会開催	1
DVDの有効活用 記録の整備と保存	
会長就任挨拶 新関 昌利	1
DVD完成報告集会	3
ともかくよかった 多くの人の視聴を	
ビデオ発送に当たって 会長 川島 裕	3
本会への問い合わせ	4
編集後記	4

### 第19回定期総会開催

## DVDの有効活用 記録の整備と保存

第19回定期総会は2012年6月15日14～17時、東京港区の勤労福祉会館で開かれ、伊東信、柿山 朗、栗原三郎、河内山典隆、小林三郎、篠原国雄、竹中正陽、豊田建造、中島 洋、正岡勝直、吉田敏長の11名が出席した。

#### 小林副会長挨拶

ご出席の皆さん元気そうで何よりです。

会長は体調優れず欠席となり残念です。私も86歳となり衰えを感じている。

近年精力を傾けてきたDVD作製、とてもいいものができた、ご苦労様でした。

本会も「知られざる戦没船の記録」の発行、「戦没した船と海員の資料館」の開設等いい仕事をやってきた。しかし、近年世の中全体も閉塞傾向にあり、いろいろ困難も増加しているが、頑張っただけのこともある。よろしくご討議願う。

### 理事会開催告示

戦没船を記録する会々長 新関 昌利  
下記により理事会を開催致します。

記

日時 2012年9月13日(木) 14時～

場所 東京 港区立勤労福祉会館 和室

議題 1、総会後の状況

2、DVDの反響と活用

3、資料・記録の保存

4、その他

### 会長就任挨拶

新関 昌利

私こと、この度6月15日付をもって本会々長の任に就くことになりました。

この時に当たり、本会設立以来、営々と築き上げてこられた前会長並びに諸先輩の方々の業績を思う時、その後を継承致します任の重さに身の引き締まる思いに駆られます。

私は、今後どのような世の中になろうとも決してないがしろにできないものの一つに、先の大戦に散った戦没船と船員に対し鎮魂の祈りを捧げること、そしてその記憶を絶対に風化させぬよう、しっかりと記録に留めて次世代に伝え、歴史の教訓となすべきことがあると考えます。わが会の設立趣旨も正にそこにあるといえましょう。

会設立以来18年を経た現今、会員の皆様方の高齢化と会員数の減少が進む中ではありますが、非才の身ながら会の目的推進ため誠心努めてゆく所存であります。

会員及び賛助会員の皆様のご協力とご鞭撻を賜りますよう切にお願い申し上げます。

### 第18年度活動報告・決算報告

篠原事務局長より、第18年度活動報告(案)・決算報告(会報第58号参照)について重点的説明があり、若干の質疑の後、承認された。

### 第19年度活動方針

#### 1、組織の存続問題

○ DVD『海なお深く』が完成し、一仕事終わったとの感もある。また、近年、会員の高齢化・体調不良等から会報の返送(病気その他で転居または入院との例もある)がふえてきた。

また、収支報告からも分かるとおり、前年度総収入は16.5万円(会費・カンパ者35名)だった。一方支出は少なくとも年25万円はかかる。現状では限界とも言える。

○ 組織と財政面では厳しい状態にあらうが、2の「DVD『海なお深く』の配布と活用」は、既にDVDの問い合わせも多数きている。すぐにも取り組みしばらく相当の力を注ぐ必要がある。3以下の課題もあるので、比較的若い人の入会や活動参加を求めて、組織と財政の強化を図りながら頑張る必要がある。

### 2、DVD『海なお深く』の配布と活用

場所・時期その他部分的に捉えたものは多くあるが、太平洋戦争全期を庶民・被害者の立場から捉えたものは少ない。「この悲劇を繰返してはならない」との先人の叫びを無にしないためにも、DVDはできるだけ多くの人の見てもらいたい。当面、そのための活動を強める必要がある。折角作ったもの、その配布拡大と有効活用を当面の最大課題として、早急に具体策を作成して取り組むこととする。

### 3、パネル展の開催

横浜展は既に行なわれ、埼玉展も参加前提で準備が進められている。引き続き創意工夫をしつつ参加に努力する。

### 4、資料の収集・整備・保存(CD作製等)

○ 完成したDVDの資料編として同時作成することとしていたが、資金不足やDVDの長さ(1時間以内が適度)等から見送りとなったもので、新たに収集された資料や再整備された資料をも含めて、引き続き作製を目指す。

資料不足もあり完全なものとするのは不可能視されるが、新たな資料の入手や資料の再整備も続いており、一定時期に区切りをつけることを条件に、出きるだけいい物にする努力をもう少しの方がよいと思われる。具体策については種々の方策もあるので、その時期とそれまでの具体案を理事会で検討しつつ、推進することとしたい。

○ 果たして保存記録がそれほどの価値があるのか？有効に生かされるか？

○ 「記録の保存」は本会の主目的であり、先のDVD作製の際も資料編として入れることが決定されていたが、諸事情により実現を見なかった。他に残された記録が少ない中では出きるだけ残す価値はある。ネット・メディア等での報道・拡散もあり旧時

より期待できる。努力の成果を残すことに意義があり、生かされることを期待したい。残す方途はいろいろあるので、海員組合との協力も含めて、知恵を出し合って是非実現したい。

○ 一層の活動は賛成であるが、現状がどうなっており、今後何をどうするのか？その分量は？実行計画を明確にしてやってゆく必要がある。

○ 以前(2010年頃)にも検討したことがあったが、その後の新たな資料、整備の進行もあったので改めて現状報告・実践の具体案等も作成し、理事会での論議を経ながら実行してゆきたい。

<次回理事会で具体策を討議することとした>

### 5、会報の発行

原稿の収集・作成が大きな課題となっている。投稿の促進等改善策を模索しつつ、年3回以上の発行を予定する。

### 6、ホームページの有効化

ホームページ(HP)のあり方・形式等の一般的な革新も進んでおり、本会のHPも改善が必要視される。担当者の刷新を含め有効化を図る。

### 7、その他

必要な事項が生じた場合は、理事会の議を経つつ対処する。

### 役員交代

本年度は役員交代期ではないが、会長の体調不良、事務局長の強い退任希望があり、夫々の交代補充を行なった。補充新任者の任期は1年である。

また、理事の死亡・体調不良等もあり、該当者の退任を承認したが、その補充は行なわなかった。

なお、川島氏は会長としての多年の功績もあり、名誉会長(新設)に就任していただき、可能な範囲内で引き続きご尽力をお願いすることとした。

名誉会長	川島 裕(新任)	前会長
会 長	新関 昌利(新任)	郷土史研究家
事務局長	篠原 国雄(退任)	
	栗原 三郎(新任)	
理 事	青山 昭元(体調不良・退任)	
〃	中原 厚(死亡・退任)	
〃	溝邊 修(死亡・退任)	

退任者の多年のご尽力を深謝し、故人のご冥福をお祈りいたします。

## DVD完成報告集会

# ともかくよかった 多くの人の視聴を

昨年5月以来具体的な作製作業に入ったDVD『海なお深く』は、本年5月初旬完成した。

6月15日都内において、本会としての完成報告集会を開き、全日本海員組合・製作者(青銅プロダクション)・本会DVD作製委員・協力者等23人が参加した。

主催者側の本会からは、海員組合の資金面を始めとする協力と青銅プロの作製上の全面的な取り組みにより完成できたことに謝意が述べられた。

その後、全参加者からの発言もあり、有意義な集会となった。

集会での発言・DVDを視聴された方からの反響の中から幾つかの概要を紹介する。

○ アリガトウ!ともかくよかった。折角苦労して作ったもの、出来るだけ多くの人に見てもらおう。いろいろ知恵を出し合っているやってみようではないか。小生も地域でいろいろ工夫して努力してみたい。

○ 「こんなに多くの船員や船がひどい状態の中で戦没したことを初めて知った」との言を耳にした。海運国日本といわれながらも国民にはその実態が殆ど知らされなかったのだろう。実態を知っていただき、悲劇が繰返されないことに大いに役立って欲しい。

○ 太平洋戦争での船員・船舶の実態を全面的に捉え、高校生にも分かるように表現し、40分に収めることはとても難しく苦労した。

それだけに、作製過程で多くの論議が交わされ、シナリオや画面の手直しも多行なわれたが、関係者の努力により完成できた。

○ 太平洋戦争では九死に一生を得て今日まで生きてきたが、戦時中は多くの仲間が目の前で戦死し、戦後も隣近所や職場にも戦死者の遺族が多かった、思い出したくない心境も手伝って、戦時中のことは親や妻子にもあまり話したことがない。

しかし、最近、死ぬ前に誰かに話さねばとの思いに急ぎ立てられていた。そんな矢先にこのDVDを視聴し、「助かった、俺の代弁をしてくれている、子や孫にも見せよう」との心境だ。



報告集会での記念撮影

2012年5月11日

協力者・会員各位

戦没船を記録する会

会長 川島 裕

### 『海なお深く』戦没船と船員の記録— ビデオ発送に当たって

多くの方々のご協力を戴きながら取組んで参りました戦没船のビデオが、『海なお深く』戦没船と船員の記録—として完成し、皆様のお手元にお届けする運びとなりました。長い間のご協力にお礼申し上げますと共に、このビデオを大いに活用して下さるようお願いいたします。

このビデオ作製は、本会が長年にわたって収集してきた資料を、後世に伝えるためDVDに収録することが出来ないかという論議から出発し、2010年6月、全日本海員組合が本会の提案を全面的に受け入れ、双方の対策チームが協力して取組み、映画製作会社「青銅プロダクション」の協力を得て、本年5月に完成したものであります。

完成したビデオは、私たちが当初予定していたものより、製作資金の関係で大幅に縮小せざるを得ませんでした。海員組合は東日本大震災で被災した組合関係の復興事業に大変苦労されている中、また、青銅プロダクションは少ない予算の中で最善の努力をしていただいたものと、両者に対して感謝の意を表します。

この『海なお深く』戦没船と船員の記録—のビデオが、戦没した船と海員の資料館と共に、戦没した6万有余の船員の鎮魂と、海上の平和を守るために、大いに役立って欲しいものと心から願っております。

注) ビデオ送り状、一部省略

## 本会への問い合わせ

### <問い合わせ 1>

埼玉での戦争展を見に来た老婦人「兄が昭和19年9月8日、日満丸という船に乗船中、宮古島付近で米潜水艦の雷撃で沈没、戦死したと聞いているが、戦没位置等、詳しいことを知りたい」と言う。

当日は資料を持ち合わせなかったもので、後日調査の上、文書でお知らせをした。

### <返事 1>

- 1、故人＝Kさん、享年17歳、船内職甲板員。
- 2、日満丸＝東亜海運所属、1,922総トン、1917年10月大阪の原田商行で竣工。
- 3、戦没日＝1944年9月8日。
- 4、戦没場所＝八重山列島西表島北西30哩／石垣島南西60km(24-45N 123-20E 注：24-46N 123-31Eとの米軍資料があるが前記が正しいと思われる)付近にて米潜水艦(Spadefish)の雷撃で沈没。乗組員54名が死亡(戦没船員の資料も残されています)。
- 5、戦没時の状況＝当時は多くが船団で航行していましたが、日満丸はマニラで船団を組み、基隆で鉱石運搬船主体の船団に再編し、「タカ808」という船団(日満丸・日安丸・昭慶丸・武州丸・神天丸他3隻の8隻で構成)で、1944年9月8日早朝基隆発那覇向け航行中、2205(22時5分)頃2列縦隊後尾にあった日満丸・日安丸が雷撃を受け浸水沈没。2320頃右列最後尾の神天丸と左列2番にあった昭慶丸が被雷沈没。
- 6、東亜海運の設立＝大陸方面への航路群(上海・天津・青島などへの航路)の一元的管理による権益の保護を目指し、それまで各航路を運航していた船会社が共同して、1939年(昭14)に東亜海運が設立された国策会社。(注：敗戦時解散し、現存していません)

### <ご婦人よりの礼状>

今まで分からなかったことが分かり感謝に耐えられません。兄弟にも連絡して墓参りし報告をします。

本当に有難う御座いました。貴会のご発展をお祈りします。

### <問い合わせ 2>

祖父(M)は生前(1988年没)、よく「戦前には船で商売をやっていたがすべて徴用されて帰ってこなかった」と言うておりました。Mが所有者となって

船のことを教えてください。

### <返事 2>

- 第7号喜久丸＝M所有、184総トン、1939年11月兵庫/御津で竣工、貨物船・機帆船・木船、19.09.20日比島セブ島付近で戦没、戦没原因不明2名戦没、1945.1.25神戸抹消。
- 第12号喜久丸＝M所有、213総トン、1940年9月兵庫/御津で竣工、貨物船・機帆船・木船、1943年2月20日海軍に徴用/一般雑用備船、1945.09.02解備、1950.6.1神戸抹消(戦後残存)。
- 第5号喜久丸(1944.4.4抹消)、第6号喜久丸(1939.11.4抹消)、第11号喜久丸(1945.1.25抹消)、喜福丸(1952.1.29抹消戦後残存)＝この4隻については徴用・戦没との記録は無いが、記録消失ケースも少なくないので確定できません。

### お知らせ

事務局長の交代に伴い、「連絡所」が次の通り新書記局長宅に変更となりました。ご留意の上、今後ともよろしくお祈りします。

### <連絡所>

〒343-0025 越谷市大沢4-15-1-4-207

戦没船を記録する会

TEL/FAX 048-965-6820

携帯電話 090-6146-5557

E-mail senbotu@ric.hi-ho.ne.jp (変更なし)

郵便振替 00160-6-719515 (変更なし)

### 編集後記

最高気温35度を超える猛暑が続いておりますが、皆様いかがおすごしでしょうか。

総会后早2か月、月日の過ぎ行く早さに今更ながら驚きを感じております。

暑さ負け、役員交代もあり会務が遅れておりますが、関係方面への挨拶も済ませ、会報発行によりやく漕ぎ着け、理事会開催準備に取り組んでいるところです。

今号は、展示会への参加や投稿もありましたが、諸事情により総会とDVD完成報告集会主体の4頁建てとなりました。ご了承ください。

会報発行では、原稿の収集・作成が頭痛の種です。常日頃気にしていること、地域のエピソードその他投稿して戴ければ有難いです。

書記局長の任務も実際やってみれば大変なことと思いますが、何とかこなしてゆきたいと思っております。ご指導ご支援よろしくお祈りします。(栗原)